

クオリティインディケーター(QI)成果報告

〔臨床病理診断科〕

指標名

消化管生検の病理診断に要する日数

目標・ゴール

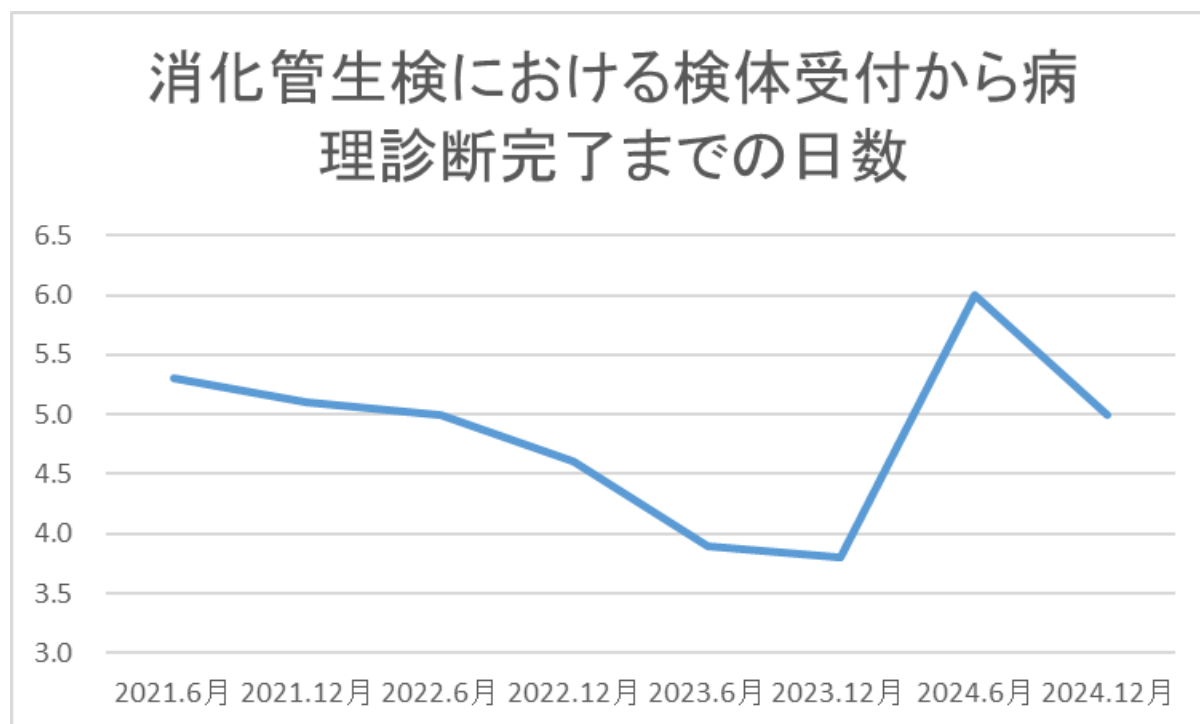
消化管生検の病理診断に要する日数の短縮化

目標・ゴール達成による効果

- ①迅速な病理診断報告による消化管疾患診療の効率化
- ②消化管疾患の入院日数の短縮化

目標・ゴールに対する成果の状況

2023 年度は診断完了までの日数は短縮傾向にあったが、2024 年度は日数を要した。



目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- ☐S :大幅に目標を上回った
- ☐A⁺:目標を多少上回って達成
- ☐A :目標を達成
- ☐B⁺:目標を少し下回った
- ☒B :目標を下回った
- ☐C :目標を大幅に下回った
- ☐ー :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

2023 年度初めに標本全体の取り扱いの見直しを行い、標本作製から診断までの時間を短縮することができた。2024 年度は標本作製の課程に大きな変更点はなかったが、診断のクオリティを重視したこと(消化器病理専門医のチェックを多くの症例で行った)や新入職員が増えたことで、報告までの日数が以前よりも要してしまったと考えられる。

今後は診断のクオリティも担保しつつ、迅速な報告ができるように診断能力の向上を目指す。